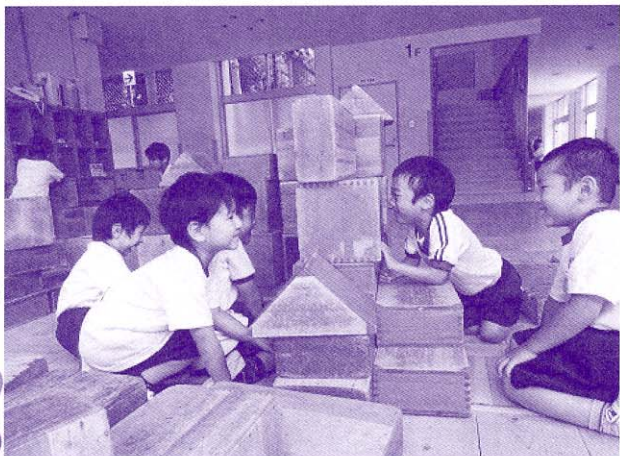


会報

全国国公立幼稚園・こども園長会



主な内容

第六十六回総会・研究大会
(神奈川大会) 報告
各部・委員会報告

制度改革の中、確実な幼児期の 学校教育の推進に努めよう

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 岩城 眞佐子



六月十二日に神奈川県相模原市において開催されました全国国公立幼稚園・こども園長会総会において、会長の任期二年目となりました。全国の理事や会員の皆様のお力添えをいただき、本部役員一同、心を合わせて精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

子ども・子育て支援新制度の施行今年、四月より施行されました「子ども・子育て支援新制度」によって、幼児教育の制度は大きく変わりました。報道によると、認定こども園の数は、昨年一、三六〇件で

あったのが、今年の四月一日現在、二、八三六件となっております。幼稚園からの移行もある程度は増えていますが、保育所からの移行がかなり増加しています。これは、保護者のニーズが保育の量の拡充と同時に教育の質についても期待している結果であるとも言えるのではないのでしょうか。どの施設でも、質の高い幼児教育を受けることができるよう、希望されているのです。本会は、これまで同様、質の高い学校教育を推進する組織として、各地域において、地域の幼児教育の核となるような教育実践を行ってまいります。

また新制度を施行した後の状況を検証するため、「子ども・子育て会議」を開催することになりました。本会からも私が委員として出席し、教育の質の維持・向上に向けて、国公幼の取組を発信してまいります。

組織力を盤石に

社会情勢や、制度改革によって本会の園数の減少が進んでおります。しかし国公幼は、全国規模の総会・

研究大会、研究協議会、ブロック研修会等を開催しております。この研修の機会を通して、教員の資質向上を図り、幼児教育の充実につなげているのです。次代を担う若い世代の人材を育て、今後も確かな学校教育としての幼児教育の歴史をつないでいくために、国公幼の組織力の強化を図ってまいります。制度改革による課題も出てくるかと思いますが、国公幼の組織力と信念をもって解決してまいります。全国の皆様の英知と情熱を子どもたちの幸せのために結集していきましょう。

今年度の特別事業がスタート

今年度新たなテーマで二年間の特別事業に取り組みます。テーマは「遊びを通して子どもの生活体験を豊かにする調査研究」です。

近年、便利で快適な生活環境の一方で、幼児は、ひねる・押す・絞る・畳む・結ぶ等といった指先・手先を使う体験が乏しくなってきています。そこで、本事業では、生活体験や手先や指先を使った遊びに関する実態調査を行うとともに、全国キャンペーン研修会を実施し、親子の関わりを楽しむながら、生活体験を豊かにするための在り方を探っていきたくと考えます。アンケート調査やブロック研修会の開催など、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。